

ヘッドライン:

- ・ L. ロン ハバードからの引用
- ・ NPO 法人 設立のごあいさつ
- ・ エイブル・アジア・リーダーズサミット 2009 IN 飯田
- ・ よさこい祭りのご報告

人が何かについて混乱した考えを持っていたり、絶対にそこに何か矛盾した考えがあると思っている時は、どんな時でも必ず、その混乱の根底には誤解語があります。

L. ロンハバード

NPO 法人 設立のごあいさつ

APS JAPAN は、2009年5月8日付で法務局に「特定非営利活動法人 アプライド・スカラスティックス・ジャパン」を正式名称、「APS JAPAN」を略称として登記を行い、NPO 法人の設立となりました。

今後は、「NPO 法人 APS JAPAN」としてさらに広く社会的な活動が可能となります。これまでの皆さまのご支援、ご協力に心から感謝を申し上げます。

当団体は2001年7月に結成され、「日本 使える学習法の会」の名称で基礎的な学習法の啓蒙活動を実施してまいりました。その後、賛同くださる方々も増加し、また自費出版も始まりました。こうした動きから NPO 法人への意向を固め、2008年4月開催の総会で法人化と名称の変更を決定、11月に名称を「APS JAPAN」と改め、2009年2月20日に法人申請を行い、4月27日に認証されました。

これまで当団体は、実践的な教育方法の提供・支援を家庭や学校、地域社会に向けて行ってまいりました。このたび法人格を取得し、さらに社会へ貢献すべく積極的に事業を展開していく所存です。

今後とも変わらぬご支援のほど、よろしく願い申し上げます。

エイブル・アジア・リーダーズサミット 2009 IN 飯田 平成 21 年 4 月 4 日(土)～6 日(月)

生活教育向上を目指し、各方面で活動しているアジアのグループの代表が長野県飯田市に集まり、活動報告や意見交換を行い、アジアでの今後の展開について互いにアイデアを得、また協力し合うことの重要性を再認識しました。

他国の活躍をいくつかご紹介いたします。

1) パキスタン

パキスタンではクリミノン(L.ロン・ハバードが開発した犯罪者更生プログラム)とアプライド・スカラスティックス(以下 APS)は Mr. Saleem Aziz Khan という方が代表を兼任されています。

現在、Karachi 刑務所でクリミノンの4ステップ・コース、そして Malir 刑務所で「しあわせへの道」(L.ロン・ハバードが著した著書であり、宗教色のない道徳律)を

提供しています。APS の活動としては、Sindh 大学にて職員と教員、学生に対してサービスを提供しています。

彼の行っているサービスは、パキスタン政府と国連の援助の元で行われており、それにはESL(第二言語としての英語学習)と「勉強の技術」のサービスが含まれています。



生活教育向上を目指し、各方面で活動しているアジアのグループの代表が長野県飯田市に集まり、活動報告や意見交換を行い、アジアでの今後の展開について互いにアイデアを得、また協力し合うことの重要性を再認識しました。”

現在、APSとクリミノンが提供する25のサービスが政府の支援で行われており、そのうちの5つが終了しています。また、62校の大学への提供も予定されています。

もともと彼が政府機関で働いていたため、多くのオピニオン・リーダーと関係があり、またその人たちのサポートも受けています。

2) インドネシア

インドネシアでは、クリミノンは2002年にスタートしました。現在は Mardjaman さんが代表を務めています。

彼は以前、インドネシアの Director General for Corrections で、365か所の刑務所を管理していました。

インドネシアのクリミノンには、インドネシア語に翻訳

されたクリミノンの4ステップ・プログラム(犯罪者の矯正・更生プログラムの1つ)の冊子があり、それらを使用して、規範的にトレーニングを受けたコース監督者がサービスを提供しています。

3) タイ

クリミノンと APS は Diana Lara さんが15年前から兼

任しています。

彼女の右腕である Meow さんは、APSとクリミノンのコース監督者の資格を取得しており、現在クリミノンのコースは主に Meow さんが提供しています。

刑務所でのコース提供に加え、コミュニティーセンターで APS のコースを提供しています。



よさこい祭りのご報告 APSJ: ウイン長野(飯伊よさこい祭り実行委員長) 桐山由紀子さん

また、このサミット開催に合わせ、APS JAPAN グループ ウイン長野の桐山由紀子さんが「飯伊よさこい祭り」を企画、50名ものボランティアスタッフをまとめる実行委員長を務め大成功を収めました。

「よさこい祭り」は阿波踊りに負けない、永続発展してゆく市民の祭りを作ろうという思いから高知県で始まり、その後それぞれの地域のまちづくりや地域おこしとして全国各地に広がりつつあるお祭りです。総勢300名の県内外のグループがそれぞれの思いを踊りと掛け

声で表現、素晴らしくパワフルなイベントでした。

この「飯伊よさこい祭り」では踊り手や観客に、約1000冊の『しあわせへの道』と「あなたがしてほしいことをほかの人にしないようにしましょう。」のポスターが配布されました。

よさこい祭りのご報告 APSJ: ウイン長野(飯伊よさこい祭り実行委員長) 桐山由紀子

エイブル・アジアリーダーサミットが長野県飯田市で開催されることを、クリミノン・ジャパン代表の児島さん

から聞き、ただ「ひらめき」のままに、「よさこい祭り」の企画が進みました。

まずは小冊子製作のための資金を APS JAPAN のメンバーをはじめ友人有志が寄付をしてくださって、「南アルプスと桜」の表紙の小冊子『しあわせへの道』を約1300冊印刷し、配布しました。早々手渡った方々より、好評をいただきました。

よさこい祭りのご報告(続き)

また、飯田下伊那郡下の小中学校 70 校余りの校長先生全員に『しあわせへの道』と「あなたがしてほしいことをほかの人にしないようにしましょう。」と書かれたポスターが児島さんより手渡されました。

「飯伊よさこい祭り」では、ボランティア・スタッフ総勢50名、地元踊り子150名、県外踊り子150名がそれぞれ才能を発揮しました。そして 県外から祭りに参加して下さった方々全員に、『しあわせへの道』の小冊子とポスター、DVD を渡すことが出来ました。

ささやかな「できる」行動によって大きな結果に結びつけましょう！！

「いい世さ来い祭り」をエイブル・アジアリーダーサミット参加の皆さんと共有できたこと、感謝と感動でいっぱいです。

APSJAPAN の今後の拡張、発展に、より広く大きく希望を抱くことができました。



飯伊よさこい
(いい世さ来い)祭りの
様子”